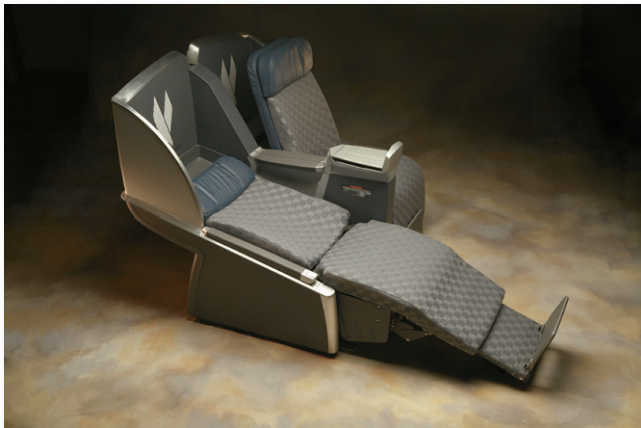


# UPDATE

## ボーイング777 ビジネスクラス 新型シート発表～「フラッグシップ・スイート」もB777全機に導入



新型ビジネスクラスシート

アメリカン航空は保有する47機のB777にビジネスクラス新型シートを導入することを発表しました。また、既に好評を頂いているファーストクラスシート「フラッグシップ・スイート」についても、全てのB777に導入することを併せて発表しました。

アメリカン航空では、2006年夏にB767-300向けに新型ビジネスクラスシートを導入しており、搭乗されたお客様のアンケートからも高い評価を得ています。常により質の高い快適性、柔軟性、利便性、プライベートスペース等をお客様にお届けするという当社のサービス理念に基づき、B777ビジネスクラスにも新型シートの導入を開始しました。

新しいビジネスクラスキャビンを設置したB777機材は既に7月初旬に路線投入されており、太平洋路線を含む残る機材への導入は2007年秋に開始される予定です。またファーストクラスへの「フラッグシップ・スイート」の完全導入は、2007年末までに完了する予定です。

### ビジネスクラス 新型シート



#### ■最新型シートの特徴

**人間工学に基づいた設計** 5つの独立したモーターにより、きわめて柔軟にお好みに合わせた座席設定が可能です。座面、背もたれ、延長レッグレストなど、それぞれ独立した部分の調整が可能です。

**快適なライ・フラットシート** リクライニングすると長さ76インチ（193cm）の広々とした快適なベッドに早変わります。またパーティションを装備し、これまでにないプライベートな空間を提供します。

**前方へスライドする独自のシート** 航空業界初の機能

として、座席を10インチ（25.4cm）前方にスライドできるようにになっています。座席を移動させることによって隣のお座席との間にプライベートな空間を保つ事が可能となりました。

**連結式トレイテーブル** 2枚に分かれた画期的な設計のトレイテーブルを採用、シートの背もたれと中央コンソールにそれぞれ収納されています。単独で使用することも、2枚を連結し広々としたスペースとして仕事やお食事にお使いいただくこともできます。

#### ■充実したエンターテインメントメニュー

**オンデマンドのエンターテインメント** 新型シートは、角度調整可能な10.6インチタッチスクリーン式モニターを装備したパーソナルエンターテインメント装置が装備されています。また、ボーズ社製アコースティックノイズキャンセリングヘッドホン QuietComfort®3で、迫力のあるエンターテインメント体験をお楽しみいただけます。ビジネスクラスでは、映画35本、テレビ番組録画18時間分、音楽CD 50タイトル、ゲーム15種類、アメリカの音楽チャンネル14局等のメニューを取り揃えています。オンデマンド機能により、番組の選択、再生、一時停止、早送り/巻き戻しもご自由に調整いただけます。機内エンターテインメントの言語は地域により異なりますが、日本語、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、中国語、ヒンディー語などをご用意しています。



#### ■進化したキャビンデザイン

**便利な電源コンセント** 新型シートでは使いやすさ向上のために、電源コンセントはフロアや座席下部ではなく、座席の間の中央コンソールに設置しています。

**明るい照明** 背もたれに設置された照明がテーブルを照らし、読書や仕事に十分な明るさを提供します。頭上には全体照明を設置しています。



新しいビジネスクラスシートは37席となり2-3-2のレイアウトで配置しています。これまでより2座席増設し、ビジネスクラスに対する根強いご要望や、AAAdvantage®メンバーのビジネスクラスへのアップグレードのご希望にお応えできるようにいたしました。

#### 「フラッグシップ・スイート」の設置

ビジネスクラス新型シート導入と並行して、全てのB777ファーストクラスに、「フラッグシップ・スイート」の導入を進めています。2007年末には導入完了予定で、保有する全B777機材に、航空業界で最も快適なファーストクラス用シートとされている「フラッグシップ・スイート」が導入されることとなります。



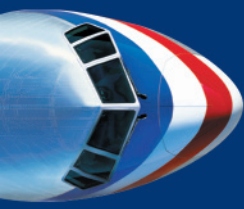
フラッグシップ・スイート

「フラッグシップ・スイート」は、フルフラット式で6フィート6インチ（198cm）のベッドにリクライニングします。両側のアームレストはドロップダウン式で、ベッドスペースがさらに広がります。さらにパーティション、電源コンセント、革製ヘッドレスト、2つの大型トレイテーブル、衛星電話、オンデマンドで視聴できる機内エンターテインメント装置を備えるほか、向かい合って会話やお食事をお楽しみいただくための回転式シートを航空業界で初めて導入しました。

B777のファーストクラスには、14の「フラッグシップ・スイート」を1-2-1のレイアウトで配置しています。

アメリカン航空のB777は、米国と日本、英国、ドイツ、中南米、中国、インドの各都市を結ぶ長距離路線、および国内線の一部で運航しており、現在、約20の路線に就航しています。





## UPDATE

AMRコーポレーション 2007年度第2四半期3億1,700万米ドル (380億4,000万円※) の黒字を計上  
前年同期を2,600万米ドル (31億2,000万円※) 上回る



## 悪天候の影響にもかかわらず5四半期連続で黒字を達成 バランスシートの改善、流動性の向上、プロダクトとサービス向上のための投資を継続

アメリカン航空の親会社であるAMRコーポレーション (本社: 米国テキサス州フォートワース) は、2007年度第2四半期の決算について、純利益3億1,700万米ドル (380億4,000万円※、完全希薄化後一株あたり1.08米ドル) と発表しました。

今第2四半期の結果に対し、2006年度第2四半期は2億9,100万米ドル (349億2,000万円※、完全希薄化後一株あたり1.14米ドル) の純利益でした。

AMRコーポレーション会長兼社長兼最高経営責任者 (CEO) のジェラルド・アーピーは述べています。「極めて厳しい天候条件と過去最高の燃油費を克服して5期連続の黒字を達成することが出来ました。また、4年以上前に『ターンアラウンドプラン』が始動して以来、最高の四半期純利益を計上しました。今年は天候条件が大きな障害となっていますが、当社はそれを克服してお客様へのサービスを改善すると共に、長期的な成功に向けて尽力しています。業績の向上によってバランスシートも改善すると共に経営戦略強化のためのプロダクトやサービスへの投資が可能になった一方、高騰している燃油費と熾烈な競争が、今年度後半およびそれ以降にも大きな課題となります。」

### ■業績の概要

第2四半期の有効座席1マイルあたりの旅客収益 (単位収益) は、前年同期比3.6%の伸びとなりました。

搭乗率 (座席占有率) は過去最高の83.6%に達し、これに対し前年同期は82.6%でした。平均運賃を表す収益率は前年同期比2.3%改善し、9四半期連続で前年同期比増を達成しました。

アメリカン航空は米国にて現地時間2007年6月22日に、悪天候のため4月1日から6月20日までの間に主要路線の出発便のうち1.8%が運休となったことを発表しました。それ以降、6月最後の10日間に1,000便を超えるフライトが悪天候のため運休となり、

天候不良が原因の第2四半期における運休便の合計は主要路線の定期出発便のうち2.1%に達しました。

### ■第2四半期のハイライト

- アメリカン航空は新機材導入とMD-80型機のリプレイスを促進、また燃油効率を2020年までに20%以上高めるという目標に向け、6機のボーイング737-800型機の納入を2009年前半に前倒ししました。これによりアメリカン航空は9機の737型機を2009年前半に受領することになります。
- アメリカン航空と全米運輸労働者組合 (TWU) は、当社のメンテナンスおよびエンジニアリング部門をコストセンターから収益部門に変革するために行った協力作業に対してOverhaul & Maintenance誌からOutstanding Achievement賞を授与されました。
- アメリカン航空は124機のボーイング757型機全機に、最新型座席の導入、客室内装と機内エンターテインメント・システムの更新を含めたアップグレード計画を発表しました。
- アメリカン航空は米大陸横断便のプレミアムクラス乗客を対象とし、無料のオンデマンドビデオとオーディオを備えた新しいパーソナルエンターテインメント・メディアプレーヤを提供すると発表しました。また、ロサンゼルスとシカゴ間の一部のMD-80型機においてエンターテインメント・メディアプレーヤのテストを開始しました。
- アメリカン航空はお客様が航空券購入をより早く、簡単に行えるよう、AA.comの大規模なアップグレードを発表、実施しました。このAA.comの新しい航空券ショッピングおよび購入機能では運航スケジュールや価格、サービスレベルの一覧が表示され、お客様が複数の選択肢を簡単に検討できるようになっています。

### 第3四半期と2007年度通年の見通し

#### ■主要路線および連結ベースの提供座席数

AMRは通年の主要路線の提供座席数が対前年度比2.1%減少し、また米国国内便では2.6%、国際便では1.3%それぞれ減少すると予想しています。連結ベースでは2007年度通年の提供座席数は対前年度比で1.9%減少すると予想しています。第1四半期と第2四半期に発生した天候による影響は、2007年度の主要路線と連結ベースの提供座席数見通しに含められています。

AMRは2007年度第3四半期の主要路線の提供座席数が対前年同期比で2.4%減少すると予想しています。また連結ベースでは対前年同期比で2.3%減少すると予想しています。

#### ■燃油費とヘッジ

ジェット燃料の価格は不安定な状況が続いていますが、AMRは現時点において第3四半期の平均システム価格を1ガロンあたり2.24米ドル (269円※)、2007年度通年では同2.11米ドル (253円※) と想定しています。AMRは第3四半期に消費が予想されている燃料のうち35%については1バレルあたり原油換算で平均62米ドル (7,440円※、ジェット燃料換算では1ガロンあたり1.94米ドル、233円※)、31%については1バレルあたり原油換算で平均63米ドル (7,560円※、ジェット燃料換算では1ガロンあたり1.96米ドル、235円※) の上限価格を設定しています。連結ベースでの第3四半期のジェット燃料消費量は約8億ガロンと予想しています。

2007年度にはさらに3億米ドル (360億円※) のコスト削減を目指しています。

※ \$1=120円にて換算、以下全て同じ

